

第 64 回 中小規模水道問題協議会

(2010. 7. 12 開催)

7/12、第 64 回中小規模水道問題協議会を開催し、情報交換を行った。事項は、赤水対策、水道排水工事の指名競争入札、国庫補助、職員減員、防災対策等であった。赤水対策では、深井戸からの微量の鉄分、マンガンの検出とその酸化物の流出問題等であった。

詳細は、下記の日本水道新聞を参照してほしい。

◆日本水道新聞 7月15日(木)付

日本水道協会は12日、日本水道会館で「第64回中小規模水道問題協議会」(座長＝景山敏彦)市水道局長が就任した。



運転管理部門の民間委託進む

日水協 中小規模水道協議会

富士川町では、水源の深井戸から微量の鉄分、マンガンが検出され、その酸化物の流出が見られている。同様の問題を抱える事業者からは、除鉄・除マンガン設備の設置や、定期的な洗浄作業を行っている事例が報告された。

情報交換事項は、▽赤水対策(富士川町)▽水道配水管工事等の指名競争入札における指名業者選定基準(大山崎町)▽国庫補助金に係る消費税相当額の取扱(下名市)▽職員減員に伴う施設の適正管理(長泉町)▽防災対策(同)▽計画(予定)外の給水申込み(同)▽道路管理者が行う道路改良工事に伴う配水管の切廻し対応(同)。

施設の適正管理について、職員定数の削減や技術継承への対応から、協議会メンバーのほぼ半数が運転管理分野の民間委託を実施している。防災対策では、ほとんどの事業者が給水袋や給水タンクなど応急給水に備えた資機材を購入している。